

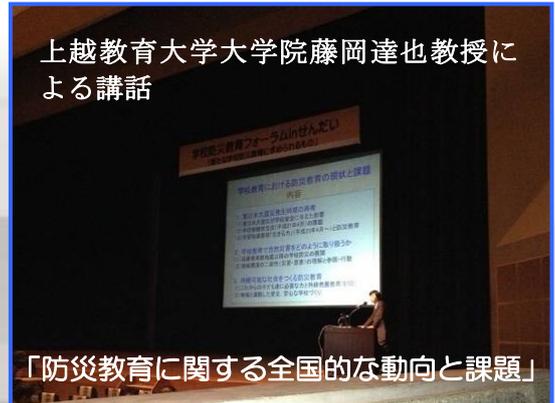
「学校防災教育フォーラム in せんだい」

会場:青年文化センター

仙台市学校防災教育の一層の充実を目的として、平成24年11月16日(金)に「**新たな学校防災教育に求められるもの**」をテーマにフォーラムを開催しました。

参加者は、仙台市立学校(幼、小、中、高、特支、中等)各校から教員とPTA役員、連合町内会関係、教育委員、市議会市民教育委員、市役所・区役所等の関係部局職員など合計414名でした。

最初にモデル校を代表して、小中学校の防災担当教員各1名がこれまでの実践と今後の課題について発表を行いました。



内容

代表校による実践事例発表

☆小学校モデル校代表 北六番丁小学校

☆中学校モデル校代表 将監中学校

パネルディスカッション

☆モデル校校長、市PTA協議会役員、有識者

連合町内会長、教育委員会事務局 合計7名

パネルディスカッションは次の2つのテーマで行われました。

I) 校内で防災教育をどのように推進するか

II) 地域・家庭との連携をどう図るか

東北大学災害科学国際研究所佐藤健教授がコーディネータを務め、テーマに沿ってディスカッションを進めていきました。ディスカッションの冒頭で、上越教育大学の藤岡達也教授から「防災教育に関する全国的な動向と課題」について講話をいただきました。

連合町内会長、PTA役員、有識者、校長、市教委それぞれの立場から、熱心に意見を交換し、その中で学校を取り巻く地域ぐるみの活動が求められていることを再確認しました。また、フロアからも、各地域で行われている取組を踏まえた意見が述べられ、課題意識の共有がなされました。



会場の様子



パネルディスカッションの様子